

# 龍ヶ崎カントリー倶楽部



2019.10.18

コースレイアウト

## 生前、氏が最も愛したコース “井上誠一氏”の代表作

- 2グリーンの傑作（ベント本グリーンの草分け）
- 「谷」が象徴、あるがままの自然を活かしたレイアウト
- バンカーの数、120
- 巧みな動線、メンテナンスまで考えた設計

## 井上誠一氏の設計思想

井上誠一氏が書かれた計画書には「此のコースの設計上の狙い」として、次のように書かれています。

- (イ) プレー上極力使い勝手の良いものとする。一番、十番の関係やグリーンから次のティーへの渡りなどを重視しております。
- (ロ) 各ショット毎に充分作戦計画を練って向かわねば征服出来ないレイアウトを行います。従って、コースに飽きが来ない、新鮮味を失わない。
- (ハ) 恵まれた立地条件や環境に加えるに美しい造形手法によって  
**プレーヤーは天国に遊ぶ心持、真に生甲斐を感じるであります。**
- (ニ) 各ホールでのプレー上の変化を狙っております。此のコースでは、プレーヤーは総ゆる種類のショットをマスターしなければならぬから、此のコースで腕を磨けばどんなコースへ行っても怖れることはありません。

## 現在進行形の高い評価 日本で有数のチャンピオンコース

### ■ 関東屈指のチャンピオンコース

- ・開場1958年
- ・7,250ヤード（4番ホール未延長） / 歩行プレー

### ■ メンテナンスの継続努力

- ・2006年 高麗グリーンのベント化
- ・2007年 新・コース売店の建設
- ・2010年 バンカー改修
- ・2011年 新品種芝(007)の導入
- ・2012年 アプローチ練習場のリニューアル
- ・2015年 シニア&レディースティの完成

## 各ゴルフ誌での高い評価

### ■Choice誌「日本のベスト10コース」連続ランクイン

他に類例のない日本色豊かなゴルフ場。  
「日本ならではの起伏の面白さ」と高い評価を受けています。

2019年TOP10

- ・小樽カントリー倶楽部 新コース
- ・北海道クラシックゴルフクラブ
- ・日光カンツリー倶楽部
- ・龍ヶ崎カントリー倶楽部
- ・我孫子ゴルフ倶楽部
- ・川奈ホテルゴルフコース(富士)
- ・廣野ゴルフ倶楽部
- ・茨木カンツリー倶楽部(西)
- ・鳴尾ゴルフクラブ
- ・古賀ゴルフ・クラブ

コース改修中の東京ゴルフ倶楽部は選考対象外となり、代わりに、海風などによる自然との闘いが強い奥深いコースと評価され、小樽カントリー倶楽部 新コースが、Top10枠に入りました。

### 財務状況

## 風格ある心温まるクラブ運営の基盤として 健全な財務体質

### ■無借金経営

### ■株主会員制

### ■100%自社有地

「メンバーシップクラブ」の基本姿勢一貫  
**和やかなクラブライフ**

【龍ヶ崎CCの精神】

**「ゴルフ好き」という下に平等**

不許冠職入山門(冠職山門に入るを許さず)

ひとたびクラブハウスの扉をくぐれば、社会的地位、肩書はなくなる

- 新入会員懇親会 (年2回)
- 会員名簿の定期発行 (隔年)
- メンバーによる会報誌の定期発行 (年2回)

マッチプレー(年4回)、2ラウンド競技(年3回)など  
**競技会もメンバー重視**

■ 4大競技

倶楽部選手権、理事長杯、キャプテン杯  
シニア選手権

■ 定例競技

月例会(Aクラス/Bクラス)、木曜杯、祝日競技、  
土曜日競技(年4回)

※ マッチプレー

倶楽部選手権、理事長杯、シニア選手権、キャプテン杯

※ 2ラウンド競技

倶楽部選手権(予選)、理事長杯(予選)、スクラッチ杯

## 通いつめるための条件 アクセスの良さ、電車で通えるコース

- 電車での来場（JR常磐線・佐貫駅）
  - ・日暮里から48分 + クラブバス20分
  - ・朝5便、帰り7便（土日）
  - クラブ発14:40を増便**
  - ・朝3便、帰り4便（平日）
- ※メンバーの間で、“電車派”が増加中



### ■ クルマでの来場

- ・圏央道が東北自動車道&東関東自動車道路と接続
- ・**東京外かく環状道路【三郷南IC～高谷JCT】が開通**
- ・インターチェンジからのアクセス向上

### <① 距離の延長>

## 開場60周年記念事業「コース距離の延長」について

コース距離の延長については、開場50周年時に本コースを熟知した大久保昌氏に検討を依頼し、ゴルフクラブの進化などを背景として、その必要性を指摘いただきました。その後、倶楽部の将来を考えるプロジェクト2030が設置されました。その中で倶楽部の知名度を上げ来場者の促進を図るためにはトーナメントの開催が最適であり、トーナメント運営関係者の意見も参考にしてコース距離の延長が望ましい、との提言がなされました。

龍ヶ崎カントリー倶楽部は現在、日本の一流ゴルフクラブとして高く評価されていますが、これからも国内有数のゴルフクラブであり続けるためには、JGAが男子公式競技会の会場基準とした全長7200Yds以上のコースを有することが必要であると言えます。他の一流クラブでは既に改修を終えたクラブも出ております。

7200Yds以上のコースを有するクラブとして男子トーナメントを招致することにより、クラブの知名度、注目度が向上し、一般来場者および新規会員の増加が期待されますので、クラブ経営に大きく貢献するものとなります。

一方、昨今の地球温暖化の影響によりOグリーンが使用できない状況でも、コース距離の延長（Cグリーンでも7000Yds程度）により、Cグリーンを使用することで倶楽部選手権などの競技会が支障なく開催できるようになります。これによりクラブ運営の柔軟性が大いに増すこととなります。

<① 距離の延長>

2019年倶楽部選手権 距離表

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
Yards	419	591	192	523	379	425	392	240	445	3606
Par	4	5	3	5	4	4	4	3	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
419	470	188	565	415	386	216	551	434	3644	7250
4	4	3	5	4	4	3	5	4	36	72

<① 距離の延長>



<① 距離の延長>

8番ホール 240ヤード



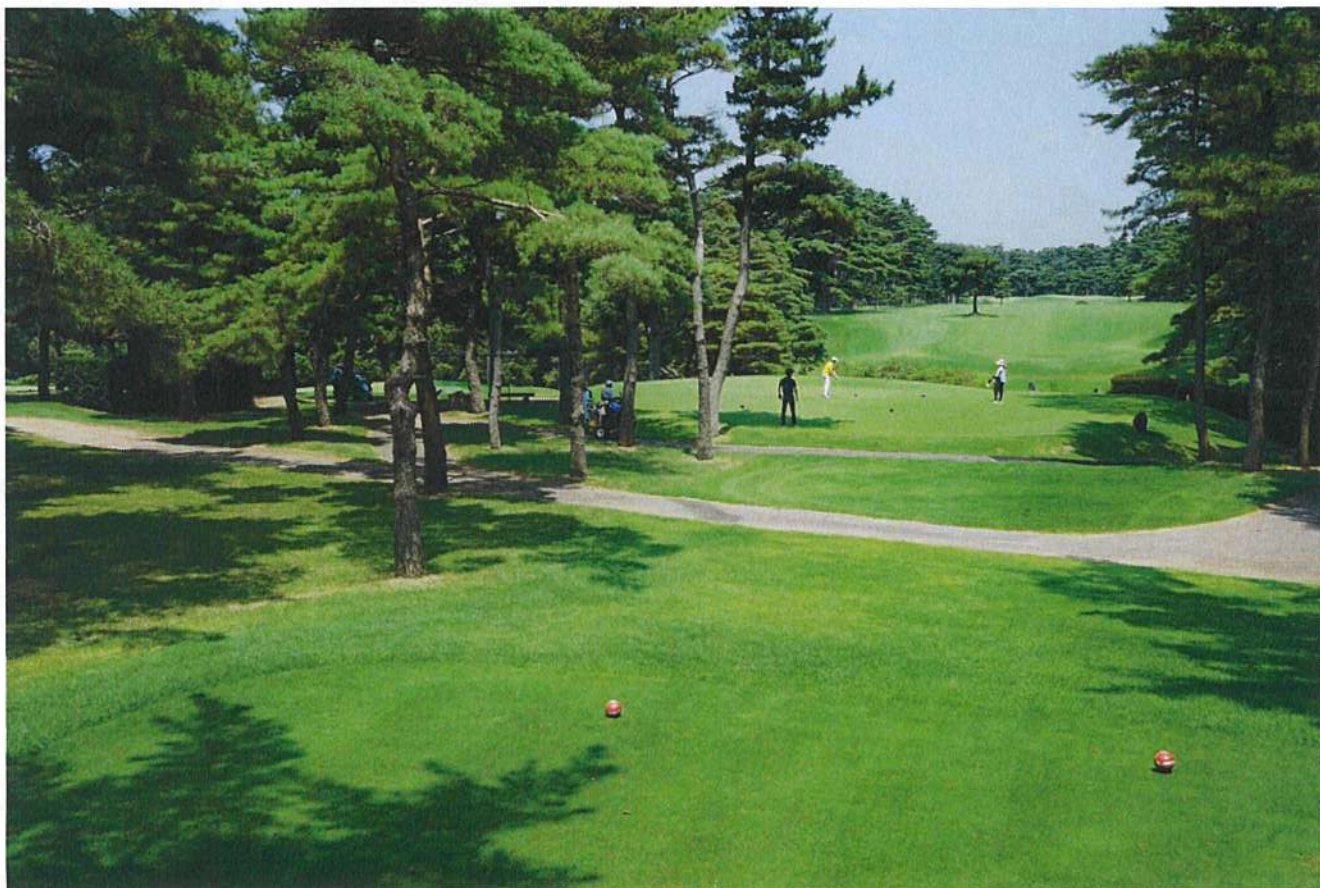
<① 距離の延長>

11番ホール 477ヤード



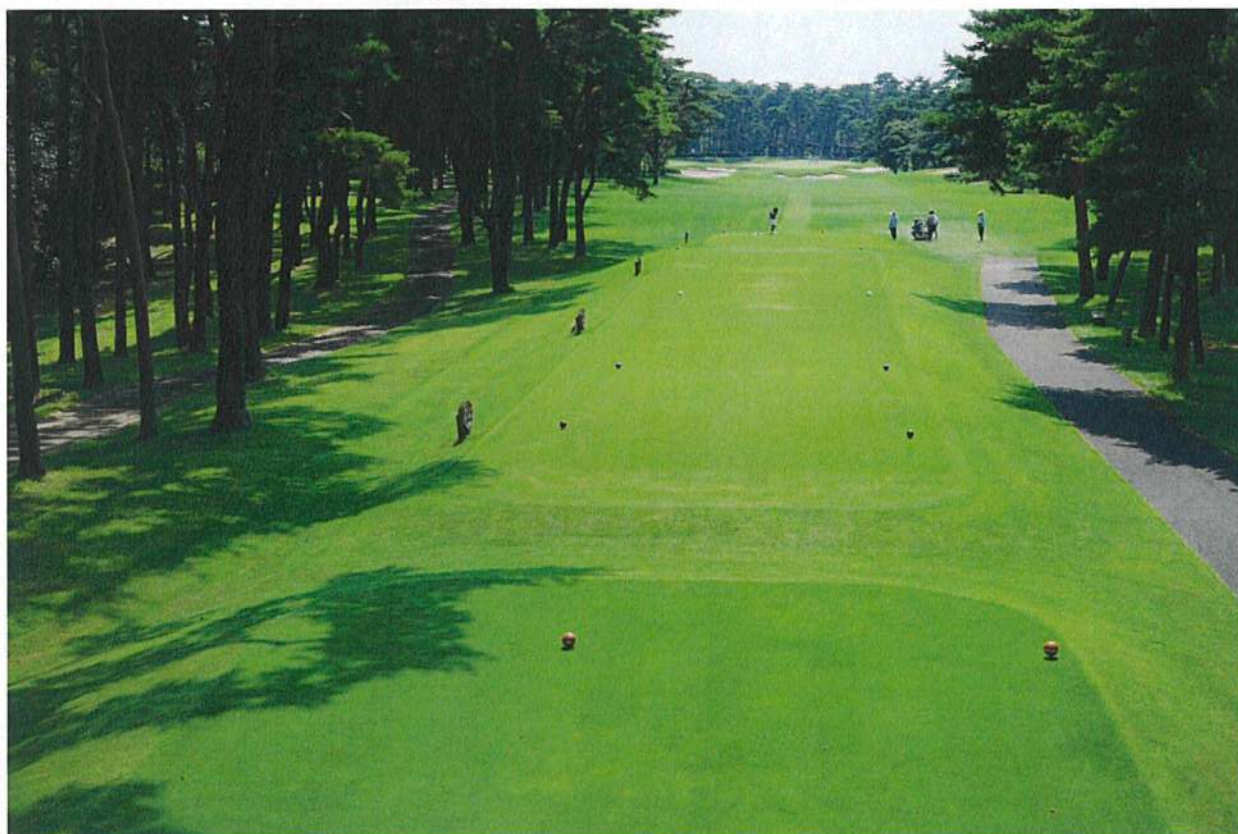
<① 距離の延長>

13番ホール 565ヤード



<① 距離の延長>

14番ホール 415ヤード





<② 平日会員の募集>

よりよりクラブ共同体の運営に向けて、“メンバーシップの良さ”を維持しながら“平日の稼働率向上”を目指しています。

2013年	12名
2014年	47名
2015年	27名
2016年	21名
2017年	27名
2018年	28名

2013年秋以降、“入会者”が増加継続しています。  
ご協力ありがとうございました。今後も募集を継続します。

<② 平日会員の募集>

平日会員で入会された方の正会員への変更が続いています。

2013年	2名
2014年	5名
2015年	4名
2016年	11名
2017年	5名
2018年	7名

平日会員が、将来、新たに株式(正会員)を取得され、  
名義書換申請により、正会員として入会した場合は、  
正会員の名義書換料から100万円を免除いたします。  
入会面接は必要ありません。

【こんな方には是非おすすめいたします。】

- 平日が自由なシニア世代の方
- 将来的に正会員になりたい方
- ゴルフのマナー・エチケットを重視する方
- クラブライフを重視する方
- 良いコースでプレーをしたい方

【募集書類が変更となりました。】

- 他コースハンディキャップ保有者は、証明書を提出願います

【保証人の条件と同伴プレーの有無】

- 保証人は単なる紹介者ではなく、入会後の保証人です  
保証人は、面識のない入会希望者の紹介を依頼された場合、同伴プレーを行い、ゴルフのマナー・エチケットに言及していただきます。  
同伴プレーする場合は、特別な事情のない限り、当コースを利用ください。

< 提携コースについて >

大洗、大利根、札幌、赤倉、愛知、西宮など、井上誠一氏設計・名門コースと提携

日光カンツリー倶楽部と提携開始

国内

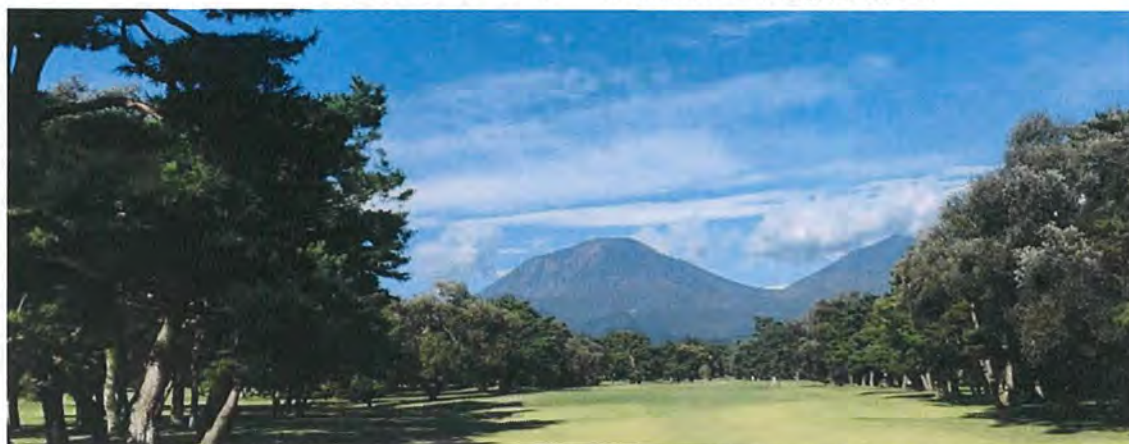
大洗ゴルフ倶楽部  
大利根カントリークラブ  
札幌ゴルフ倶楽部  
草津カントリークラブ  
赤倉ゴルフコース  
愛知カンツリー倶楽部  
ABCゴルフ倶楽部  
西宮カントリー倶楽部  
日光カンツリー倶楽部  
愛知、ABC、西宮、日光はメンバー料金でプレー可です。

海外

The Royal Selangor Golf Club (マレーシア)  
Singapore Island Country Club (シンガポール)  
Royal Queensland Golf Club (豪州・ブリスベン)

国内・海外・提携コースとの交流会を頻繁に行っています。

## 日光カンツリー倶楽部と提携開始。



### 日光カンツリー倶楽部 < 栃木県 日光市 >

開場は、1955年(昭和30年)4月3日。その3年前の1952年夏に、郷土出身で中央財界の重鎮加藤武男氏と小平重吉栃木県知事とにより、金谷ホテルで日光ゴルフ倶楽部設立の要綱が話し合われたのがはじまりです。

設計は、井上誠一氏。建設地に決まったのは当初想定していた中禅寺湖畔、霧降高原などから一転しての大谷川の旧河床。ただし大谷河原は、明治年間2度の大洪水で生まれた転石累々、石ころ地獄の荒蕪地でした。

一見平坦に見えるコースは、敷地内高低差55m、全コースにわたり微妙な勾配となっており、実は傾斜しています。プレーヤーが錯覚を起こす巧みなレイアウトが施されています。

### < RSGCのRCCへの来訪 >

2019年7月12日～13日にかけてRoyal Selangor Golf Club (RSGC) のMr. Chang See Tumキャプテン以下27名のメンバーが来訪しフレンドリーマッチを行いました。



< RCCと赤倉ゴルフとの交流会 >



2018年10月12日・13日  
は赤倉GCへの訪問

11月9日,10日は、  
赤倉GCメンバーが  
龍ヶ崎CCを来訪




< 関西ツアー 西宮CCとABCGCへの訪問 >

2019年5月31日～6月1日にかけて、関西ツアーとして山崎理事長以下二十余名で西宮カントリー倶楽部・ABCゴルフ倶楽部を訪問しました。



龍ヶ崎CC/西宮CC交流会

R1.5.31

 西宮カントリー倶楽部